

我ものかえ唄

仇なみのよるへにさそふ与謝よせの海

恋の重おもきづかさなきて。あしわけ

ぶねのたゝずまひ。秋風あきかぜさそふ

ねやのひま。すみ家かもしるき

げんじだなじつにいんくわな

ゑんじやいなア

うは玉唄

しらたまかつゆとこたへて

きゆる身の世界かいはなれて

もろともにはすのうてな

の友ともかせぎらくなこと

ではないかひな

向疵むかひの与三

かきをくる

かきあくる髪もしとなぎ

横ぐしのみたれこゝろのます

かゝみ結ゆいにいはれぬむねの

やみとけてもつれてもつれ

てとけてわけも

なみだの

玉匣たまひら露つゆ下くだ

たもとをした

たかぬらす下ゝ

君をまつは

誰をまつ葉の

かさしをさすつぢ

うらのたゝみざん仇し

男に下ゝやほらしいほど

ほれた下

仮名垣魯文戯述

横櫛のお登美